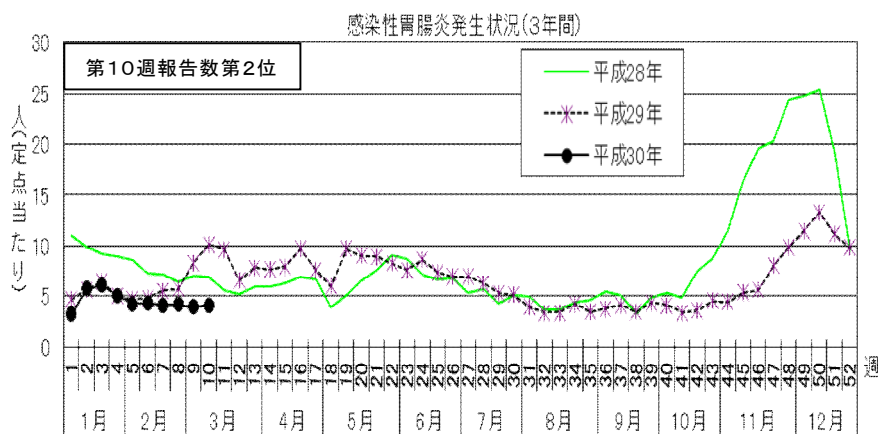
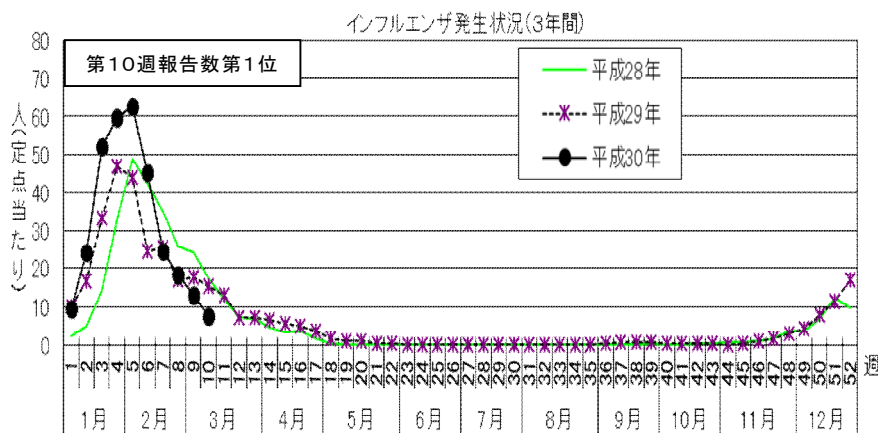


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年3月5日（月）～平成30年3月11日（日）〔平成30年第10週〕の感染症発生状況

第10週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は7.44人と前週（13.13人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.11人と前週（3.92人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.32人と前週（2.89人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



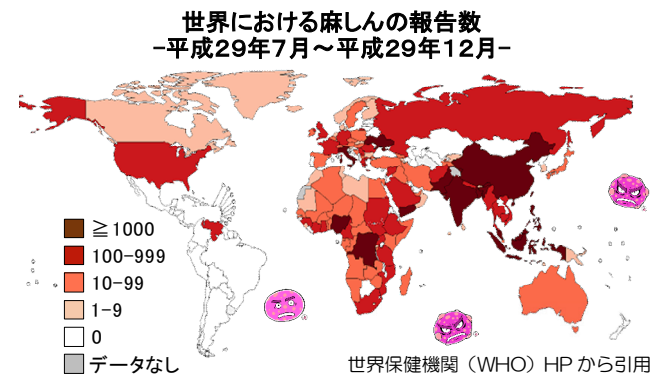
麻疹（はしか）の感染に注意しましょう！

麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性発疹性の全身感染症です。非常に感染力が強く、麻疹に対して免疫のない人が感染すると、ほぼ100%発症します。

今月に入ってから、国内では海外からの帰国者による麻疹発症事例が発生しています。これから春休みを利用して海外に行かれる方も多いと思いますが、特にアジアをはじめとする流行地域を訪れる際には、事前にワクチン接種を済ませるなどの対策が必要です。

麻疹（はしか）とは？

- 感染経路
空気感染、飛沫感染、接触感染
- 潜伏期間
7～18日（最長21日程度）
- 主な症状
発熱、結膜充血、咳、鼻水、発疹など（風邪様症状で始まり、38℃程度の発熱が2～3日続いた後やや低下し、再び39℃以上の高熱と共に発疹が出現します。）
- 予防方法
ワクチン接種



流行地から帰国後2週間程度は高熱や発疹などの症状に注意し、麻疹が疑われる場合は、必ず事前に電話連絡してから医療機関を受診しましょう。